

みんなで描いた将来像と、その実現に向けた取組をまとめた丹波地域ビジョン「みんなで丹波の森」。地域の理想の将来像を実現するために8グループが実践した2年間の活動を振り返ります。

発行：丹波地域ビジョン委員会 〒669-3309 丹波市柏原町柏原 688 TEL (0795) 72-0500 (内217) FAX (0795) 72-3077

里山deふれあいグループ



委員と地元のママパパ世代による「森の音楽会」開催！



元気いっぱいの子どもたち「里山って楽しい！」

「裏山に子どもの遊び場を」

私たちの活動は、ある女性委員のそんな声から始まりました。地元（丹波市山南町坂尻地区）の方への呼びかけや模擬的な体験会の開催を通じて、地元のママパパ世代のやる気と、委員の豊富な経験・知識がうまく合わさり、準備段階から一緒に作業を進めてきました。

平成29年9月に開催した音楽会では、私たちが整備した裏山に総勢150名の方が集まり、木漏れ日が差し込む、朗らかな雰囲気の中で、ハンモックや窯焼きピザなど、里山ならではの遊びや食を楽しみました。単に荒れた里山を綺麗にするだけでなく、地元の方のバックアップも得ることができ、地域一体の取組へと繋がったことが何よりも嬉しいことであり、こうした「山づくりを通じた地域づくり」が広がっていけばと思います。



パパ 丸太のイスづくり



ママ はじめてのチェーンソー

たんばビジョン通信プレゼント企画第2弾！ ※詳しくは誌面をご覧ください



トラッキング現象の実演



自治会での啓発活動

さるが出た!!!

災害やトラブルをよそごとと思わず、自らのこととして考えようという趣旨のグループです。この2年間で、自治会等への出前啓発講座を20カ所、公開無料講座を4回行いました。

学習メニューも拡充し、①家庭用コンセントから発火するトラッキング現象の実演 ②事例を元にした「ほめほめ詐欺にご用心」 ③男女共同参画を考える紙芝居 ④透析治療を続けるメンバーの体験をふまえた「要援護者が語る災害対策」 ⑤簡易な放射線測定も行う「知ってるつもり?原子力災害」の5つになりました。

災害等は自分には関係ないと思いがちで、住民学習会の参加率はあまり高くないのが実情です。集会や祭り等のついでに気軽に取り入れられるような、親しみやすく分かりやすい啓発活動を心がけてきました。地域ビジョンが目指す“安全安心なたんば”の実現に少しでもお役に立てたならば幸いです。

高齢者の生きがいづくり

～丹波地域に思いやりの心をつなげていこう～

年齢や障がいにかかわらず、誰もがいきいきと暮らせてお互いに支えあう丹波地域を目指し、多世代交流イベントを開催しました。

お子さんたちと一緒に、認知症について勉強したり、健康法を学んだり、話し合いをしたり。共に過ごす時間の中で、他者への興味と理解が深まることを実感しました。

高齢化先進地として、丹波地域の先輩方には、ぜひ率先して活動し、わたしたちのお手本になって頂きたいと考えます。

また、より良い暮らしと人生にするため、住民のみなさんへ、次の3つを提案します。

- ①認知症予防のためにも、心と体を健康に保つこと
- ②人と仲良く、積極的に人のために行動すること
- ③心配ごとがあれば、不安になったり避けたりせず、知恵を借り、協力を求めること



多世代交流会の様子



グループメンバー



きずな

私たちのグループでは、ひきこもり・不登校の当事者や家族を地域で支えるネットワークづくりに取り組みました。

篠山の「遊び村」では、ひきこもり経験のある若者等がスタッフとなり「流しそうめん」と昼間の花火大会を開催。ウイナーやミニマト、おもちゃなども流れてくる流しそうめん子ども達は大喜び。お腹が一杯になった後は、花火やゲームをして交流を行いました。

フリースクールの夏休み特別教室。楽しい理科実験では不思議なコマ作り。手作り楽器工作で三味線を作ったり、冷たいわらび餅作りなど、延べ30人ほどの参加者が大人も子供も一緒になって楽しみました。

「生きづらさを抱えている若者の就労支援」をテーマとする学習会では、発達障害についての講演で理解を深め、親・支援者が意見や悩みを語り合いました。

活動を通して、当事者に居場所と自分を受容する環境整備が必要ではないかと考えました。今後も取組を進めていきたいと思えます。



流しそうめん大会



発達障害についての学習会



不思議なコマ作り

夢ジョッキー



高校での「夢授業」 ～10年後の自分たちをイメージしてみよう～

私たちは、高校へのキャリア教育支援事業を行ってきました。高校生は卒業と同時に、もしくは遅くとも数年後には社会人になります。しかし、今の高校生の流れの中では、社会の現実に触れる機会が少なく、それが原因でたくさんの社会問題に発展しているように感じています。

そこで、足りないものを社会人が埋めていく仕組みとして行っているのが、『夢授業』です。

様々な職種の地元の社会人に、ご自身の高校時代から今までの経験や、この場でしか聞けないような仕事のリアルなお話をしてもらうことで、高校生に社会の現実のイメージを届ける対話型授業。

「10年後にどこに住んでいる?①地元、②地元以外」など選択式の質問に次々と答え、未来の自分をイメージしてみるワークショップ型授業の二つの授業形態が主軸です。(ノ)

丹波job

都会の人から見ると田舎の人が気づいていない魅力的な仕事にスポットライトを当てようとしているグループです。田舎社会だけでは解決できない課題が深刻化し、田舎へ憧れを抱く都市住民も増えている昨今。田舎社会と都市住民のバランスを考え、“丁稚奉公”という新たな企画に取り組みました。

“丁稚奉公”という言葉を知らない人はほとんどいないでしょう。しかし、“丁稚奉公”をしている知り合いがいる人もほとんどいないでしょう。時代錯誤な制度かもしれませんが、田舎での生活や仕事は、都会の人には時に時代錯誤と感ずることもあります。

この企画を通じて、田舎の人も、都会の人も、新たな学びや出会いの機会となり、これからの田舎社会において重要な気づきを提供したいと考え、チャレンジを続けています。

地元で働く社会人との対話



(ノ) 4年前に氷上西高校で始めた『夢授業』は、2年前から篠山鳳鳴高校、篠山東雲高校にも恒例の授業として取り入れていただいています。平成29年12月20日に行った篠山鳳鳴高校の授業は、2年生約160人を対象とした過去最大の規模となり、たくさんの社会人の方にご協力いただいたおかげで大盛況のうちに終えることが出来ました。

毎回、授業後に行うアンケートでは、全ての授業で満足度が90パーセントを超えており、高校生が未来を考える一つのきっかけとして、この丹波地域に定着しつつあると実感しています。

今年度中に、法人化を計画しており、自立した団体として地域で持続する仕組みを目指していこうと考えています。



発見「食」丹波

『自立』をテーマとして発足した私たちのグループ。地域に埋もれている食材やレシピを活用して、新しいビジネスを創り上げる。それが地域の『自立』につながる、という想いのもとに活動をしてきました。

活用の候補には、有害獣として駆除数が増加している『鹿』の肉や、増加しているであろう放棄『茶』畑などがあり、鹿肉の商品開発に成功しました。

お土産用ということを念頭に、『鹿肉を食べたことのない人でも、気軽に食べられること』をコンセプトとして、保存性/運搬性が高い『ジャーキー(干し肉)』に加工。「丹波いっぷく茶屋」(氷上PA)、丹波市立薬草園公園「丹波の湯」、鹿肉料理専門店「無鹿」のお土産コーナーでの販売委託をお願いしたところ、平成29年4月からの販売実績が200個以上となり、黒字化することができました。今後は、有志で商品販売を継続し、近隣の道の駅や全国のジビエ料理店、ネット上に販路拡大することを検討しています。

2年間の活動で、起業/事業化ということは特に難しいものでなく、ハードルが低いということがグループ員で共有できました。今後も、こういった活動をさらに続けていき、丹波地域の『自立』を促していきたいと思います。



あなたも丹波地域ビジョン委員会で活躍しませんか? 第9期委員募集中!(受付期間:平成30年2月28日まで)

- 応募資格** ①丹波地域内で地域づくりの実践活動に取り組んでいる方、または取り組む意欲のある方 ②満18歳以上の方
- 任期** 平成30年4月1日から2年間
- 定員** 60人程度
- 主な活動** ①丹波地域ビジョンに掲げる将来像の実現に向けて自主的に企画するグループ活動 ②地域ビジョンの普及・啓発等
- 応募方法** 応募用紙に必要事項を記入して提出

※詳しくは、巻末に記載の事務局までお問い合わせください。

プレゼントのお知らせ

本誌のご感想をお知らせ下さい!興味があったグループ名・感想をご記入のうえ、ハガキ、FAX、またはメールにて巻末に記載の事務局へお送り下さい。お送りいただいた方の中から抽選で、20名様にビジョン委員からささやかなプレゼントをお送り致します。

当選者の発表は4月末に発送をもって代えさせていただきます。

応募締切:平成30年3月31日(必着)



※ご記入いただいた個人情報は、プレゼント発送にのみ使用いたします。



農薬、化学肥料を使わない野菜づくりにチャレンジ



子どもたちも楽しく作業♪

丹波の里塾

- ▶ とにかく大人も子どもも汗を流して畑・土・野菜作りを楽しみました。
- ▶ 篠山市、丹波市、そして阪神間からたくさんの方の参加をいただき、初心者からベテランまで笑顔いっぱい2年間活動できました。
- ▶ 大根・白菜の種子を見たこともない大人・子ども。そんなみんなが、まず座学で知識を得て基本的な栽培方法を学びました。
- ▶ 畑に出て有機栽培・自然栽培の実践。思うように育たなかった事もありました。
- ▶ 自分の手で種子をまき、育てた野菜を収穫し、大きなお鍋で作ったみそ汁は特別な味。とてもおいしかったです。
- ▶ 何より子ども達がイキイキと楽しそうな笑顔を見せてくれました。2年間食と農を通して丹波の魅力を発信することができました。
- ▶ 手作りの黒豆きなこで食べたお餅もおいしかった!!



豊かな自然の恵みを受けて、たくさんの素敵な思い出ができました



丹波地域&西播磨地域ビジョン委員会交流会



編集後記

本誌は第8期丹波地域ビジョン委員会の2年間～新たな出会いとそれぞれの思いを、各グループを通して語り合い、議論を重ね、そして形に～委員たちの「丹波への思い・志」の実践活動の集大成です。

私も里山deいれあいの活動を通じて丹波地域の里山の現状を知り、また、実践では初めてチェンソー操作を習い整備に汗を流しました。はじめての体験満載の2年間でした。本誌により8グループの丹波への思いやわくわく感を感じていただけたら幸いです。活動された委員・事務局の方々、イベントに参加いただいた方々やご協力いただいた方々皆様に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

第8期丹波地域ビジョン委員会 副委員長 大地 由美

プレゼント企画
ビジョン委員の
応募はこちらへ!

丹波地域ビジョン委員会事務局 兵庫県丹波県民局県民交流室総務防災課
〒669-3309 丹波市柏原町柏原 688 TEL 0795-72-0500 (内線217)・FAX 0795-72-3077
E-mail Tanbakem_01@pref.hyogo.lg.jp



丹波地域ビジョン委員会



訂正

たんばビジョン通信第29号(平成29年3月発行)に、下記のとおり誤りがありました。訂正お詫びいたします。
表紙:(誤)「マツタケの植菌」(正)「シイタケの植菌」
3頁:(誤)「男女共生紙芝居キャラクター」
(正)「男女共同参画キャラクター」

丹波地域ビジョンについては、丹波県民局ホームページ、Facebookをご覧ください。

29丹波@2-010B4